

倉敷チボリ公園に関する倉敷市長からの回答等について

11月20日、倉敷市長から知事に対して、倉敷チボリ公園の市民公園としての活用について、次のとおり回答があった。

1 倉敷市長からの回答要旨

現在のチボリ公園事業の形が継続されることを基本に、市民公園化の可能性を検討したが、次の理由から、倉敷チボリ公園を市民公園として活用することは困難である。

- (1) 現在の公園全体を市民公園として運営することは、これまで事業を主体的に進めてきたのは県であるという経緯があり、また、県の支援が得られるとしても、将来にわたって多大な市財政への負担が生じることが予測される。
- (2) 一部を市民公園化する場合、現状のような人が集い、賑わいのある空間としての公園が存続していく形とはなり難い。
- (3) 一部を市民公園化する場合、その公園は憩いの場ということになるが、憩いの場としての機能を確保するのであれば、必ずしも市民公園化という手法をとらなくとも、今後、より効率的かつ実現可能性の高い他の手法が十分に想定される。
また、コスト面からも、県の支援はあるものの、将来にわたる公費支出は多額なものとなる。
- (4) 一部を市民公園化する場合、市民公園以外のエリアについて、新たな民間開発が行われるとすれば、市民公園化を先行することが、その後の民間開発に対する支援とみなされる恐れがあり、また、一体的な土地利用や自由な開発を阻害する恐れもある。

2 今後の対応等

今後の公園の在り方については、今回の倉敷市長の回答を踏まえ、県議会の御意見もお伺いしながら、チボリ・ジャパン社など関係の方々と早急に協議、検討を進め、年内には県の基本的な考え方を示したい。